

はじめにお読みください

G-MI チェックの結果について

- 本チェック結果はお子様の知性そのものを測っているのではなく、お子様が好んで使っている知性を測っています。
- 小学生のお子様の知性は発達段階にあり、様々な体験をし、学習することにより今後も伸張していきます。ですから、例えば、好んで使っていない知性があれば、活用するように上手に促していくことでお子様の可能性を広げていくことが可能になります。
- また、好んで使っている知性を知ること、講師は効果的に授業を進めていくことが可能になりますし、お子様は自学自習のヒントを得ることになります。
- 好んで使う知性は、講師、学校の先生、保護者の方々の働きかけ方や、生活パターンによって変化していくものです。ですから、継続的（例：6ヶ月単位）に評価を行ってみてください。

G-MI チェックについて

G-MI チェックは、1983年にハーバード大学のハワード・ガードナー博士が開発したMI（マルチプルインテリジェンスモデル＝多重知性）を基にして作成されています。

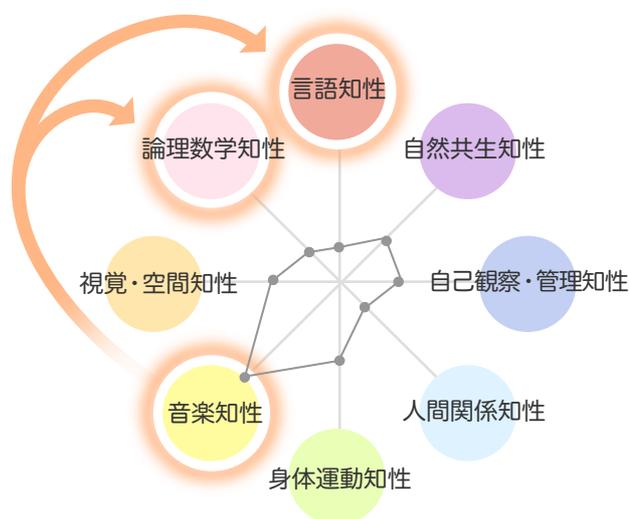
(1) 言語知性、(2) 論理・数学知性、(3) 音楽知性、(4) 身体運動知性、(5) 視覚・空間知性、(6) 人間関係知性、(7) 自己観察・管理知性、(8) 自然共生知性の8つの知性で構成されています。

人は8つの知性をバランスよく持つことがとても重要だと提唱されています。

チェック項目及びコメントについては、ガードナー博士に師事し、米国において、多くの公立・私立の学校で指導を行い、TV等でも教育コメンテーターとして活躍しているトーマス・アームストロング博士に監修を依頼致しました。

G-MI チェックは教育プログラムと共に順次進化していくアセスメントです。

〈例〉音楽知性が高い場合



※高い知性を活用し、他知性を伸張させるアドバイスをご提供します。